

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援について何ができるかを考えていくと、どのように取り組めばよいかが少しずつ見えてきた。今年度は、3月に園庭開放を日程を決めて呼びかけることにより参加者も増えて話ができるようになってよかった。</li> <li>・子ども一人一人を大切にした保育を心がけ、毎日気持ちよく生活できるように配慮した。けがや体調の変化にも細かく保護者に伝えていくことにより信頼関係を深めていくことができた。</li> </ul>
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、基本的生活習慣を身に着けて生活できるように丁寧な保育を心がける。年齢に応じた声掛けや取り組みを行うとともに個別の配慮も必要なので丁寧に行った。</li> <li>・自然に触れながらの遊びを多く取り入れていった。散歩では、マイバックを持ち発見したものを持ちバックに入れて楽しむことでより一層小動物や植物に関心が持てた。</li> <li>・食育活動も子どもたちが積極的に参加できていた。おやつ作りや野菜の収穫を喜んだ。</li> </ul>
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長している姿を保護者の皆さんと共有できるように送迎時や連絡帳などでコミュニケーションを持てるようにしていった。また、保護者アンケートで出てきた意見を丁寧に受け止め改めていくことで今まで以上に利用しやすい園になっていくようにしていった。保護者が参加しやすいように行事の工夫をしていくと「参加できる行事が多くて楽しい」や「子どもの様子がよくわかってうれしい」などの声が聞かれた。</li> </ul>
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも落ち着いて研修や視察も参加しやすくなってきた。</li> <li>・法人で行っている研修も職員の資質向上に役立っていると感じた。職員の声をよく聞きやりたいことを思いっきり出来るように環境を整えることや工夫を出来るように配慮を行った。</li> </ul> <p>年休もみんなで協力することで取得率も上がった。その分仕事に意欲をもって行えた。。</p>